

第144回:太子党の創業者

中国に駐在していたころ、仕事のストレスを発散させるという名目でよくカラオケバーに出動したものだ。個室に陣取ったときは、きれいなねえちゃんたちにチップを弾み、「天に代わりて不義を討つ、忠勇無双の我が兵は」といったジャンルを熱唱したものだ。中国で日本の軍歌斉唱は違法行為ではないが、下手な上に不愉快な内容の歌を聞かされる小姐へのお詫びにチップを配ったのであって、下心はなかった(と思う)。クラブでは時に皮肉を込めて共産主義賛歌を歌うこともあり、十八番が「国際歌(インターナショナル)」だった。日本語の「起て飢えたるものよ、今ぞ日は近し」が、中国語では「起来飢寒交迫の奴隸、起来全世界受苦的人、满腔的熱血已經沸騰、要為真理而鬪争、旧世界打個落花流水～」となり、日本語より更に格調高い歌詞が並び、クライマックスの「這是最後的鬪争、團結起来到明天、英特納雄耐爾(インターナショナル)」へ続くのである。

枕が長くなったが、前回のコラムで、11月8日から始まる中国共産党の18回大会を前に、最後の鬪争が展開されており、薄熙来スキャンダル、習近平の不動産ビジネス、温家宝の蓄財等の真贋こきまぜた情報が乱れ飛んでいるといった主旨のことを書いたが、実はあのときもう一つ米国発のビッグニュースがあった。思うことあって、前回のコラムでは外したが、時事通信が転載し、既に日本でも流れたニュースであることを知ったので、書くことにする。時事通信の報道要旨は次の通りである。

米国のニュースサイト・明鏡新聞網と多維新聞網は薄熙来事件に関連して、党中央規律委員会が同氏の弟である薄熙成氏への調査を開始したと伝えた。明鏡によると軍総後勤部の劉源政治委員(故劉少奇・元国家主席の息子)と、政府系コングロマリット CITIC(中信集団)の元会長、王軍氏(故王震・元国家副主席の息子)も調査対象になっているという。

もしも、このニュースが事実とすれば、①胡錦濤もしくは、②習近平の意思が働いて、③薄熙成、④劉源、⑤王軍に関する醜聞が権力鬪争の爆弾として意図的に流されたのであろう。情報戦だから、悪意を込めたインチキ情報の可能性も高い。実はこの5人の登場人物には共通項がある。ずばり鄧小平である。

①劉源。1966年に文化大革命が勃発したとき、毛沢東によって批判され、真っ先に失脚した「中国最大の悪人」が劉少奇(国家主席)と鄧小平(総書記)のコンビであった。もし彼らが毛沢東と仲よくやっていたら、ポスト毛沢東は劉少奇、その次は鄧小平か彭真のはずだった。文革で劉少奇は殺され、鄧小平は辛うじて生き残ったが、劉源は鄧小平にとって非業の死を遂げた盟友の遺児である。鄧小平が復活し、1978年に改革開放政策を始めたとき、劉源の伯父王光英(劉少奇夫人・王光美の兄)に光大実業(光大集団の前身)の経営を任せただけで劉一族との関係は密接であった。

②王軍。文革で鄧小平が江西省に流されて、トラクター工場で働かされていたとき、ただひとり鄧小平を擁護し、毛沢東に鄧小平の復活を働き掛けた剛直な人物が王軍の父・王震上将である。若いころは長沙

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

(湖南省)で鉄道の駅員を勤め、その縁もあったのか鉄道部隊の創設者となった。中国鉄建や中国中鉄に極めて深い縁のある人物だ。改革開放が始まると、保守派の長老として鄧小平を支え、息子の王軍を改革開放の切り札であるCITIC(いまの中信集団)に送り込んだ。海軍大佐出身で、CITICにデビューしたころは垢ぬけしない田舎のおじさんといった印象しか思い浮かばないが、思いのほか商売が上手かったようで、結果的に彼が中信集団の中興の祖となった。クリントン時代の米国で、CITICの米民主党への献金疑惑が報道されたとき、王軍は中南海に呼び出され、朱鎔基首相に「献金疑惑は本当か」と詰問されたそうだが、「うち(CITIC)にそんな金はありません」と切り返す度胸もある。何度かゴルフのお供をしたことがあるが、耳順の年にも拘わらず S-YARD(しかもSシャフト)で250ヤードを連発した豪快なスウィングを思い出す。

③**薄熙成**。薄熙来の弟で、父親は王震とともに鄧小平の改革開放を支えた保守派の薄一波(元副首相)。三男の彼はいま北京でホテル管理会社を経営しているが、一時期CITIC証券(中信証券)の独立取締役を勤めていたこともある。薄家と王家の関係がよくわかる。

④**習近平**。鄧小平が改革開放路線を始めたとき、保守派の重鎮が王震と薄一波、リベラル派の指導者が胡耀邦、趙紫陽、そして習近平の父・習仲勲であった。後に保革の対立が激化し、習仲勲は窓際に飛ばされることになる。習近平から見れば王軍や薄熙来は太子党の仲間である一方、父を左遷した恨みの政敵の息子でもある。因みに当時薄一波や王震の子分としてリベラル派の追放に動いた姚依林副首相の娘婿が、今度の大会で党政治局常務委員当確と噂される王岐山副首相である。

⑤最後に**胡錦濤**。鄧小平は天安門事件を收拾するため、薄一波・王震・姚依林たち保守派の意見を聴き、江沢民を後継者に選び、共産主義青年団(共青团)グループの追放、左遷人事を行ったが、胡錦濤だけは政権中枢に残した。将来、改革開放路線が再復活したときの切り札を希望の芽として残したのである。

太子党とは中華人民共和国の建国に功のあった大物政治家の子弟グループを指すが、そのなかで最期に最大のポリティカル・キャピタルを手に入れたのが鄧小平である。毛沢東の息子は、長男が朝鮮戦争で戦死、次男は精神を病んでいた。周恩来に子供はいなかった。首相を経験した李鵬は周恩来の養子に過ぎずネットワークを形成する血縁は薄かった。最後に勝ったのは文化大革命を克服し、改革開放の基礎を作った軍人グループで、その頂点を形成した鄧小平、葉劍英、陳雲、李先念たちのなかで、鄧小平の一族が子供の数も多く、権力意欲も強く、かつ派閥づくりが最も巧みだったのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年11月8日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。